

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課管理監（国営事業対策室長） 田和 貴	電話番号	0852-22-6535
----------	-------------------------	------	--------------

事務事業の名称	淡水化代替水源対策事業			
目的	(1) 対象	農業用水確保対策事業受益農家等		
	(2) 意図	受益農家が待ち望む農業用水確保対策事業を早期に完成させ、農業用水の安定供給を通じて農業生産力の向上に資する。		
事業概要	国や受益農家、及び関係機関と協議・調整を行い、地域の実情を踏まえた農業用水確保対策を推進する。			

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	国営斐伊川沿岸農業用水再編対策事業における農業用排水施設等の進捗率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	事業の進捗率（累積事業費/全体事業費）	目標値		76.00	85.00	94.00	100.00	%
			実績値	65.00	80.20	87.60	97.78		
	達成率			105.50	103.10	104.10		%	
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
式・定義		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	%	
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00				%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	202,357	19,478
うち一般財源(千円)	37,657	19,379

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

国営斐伊川沿岸農業用水再編対策事業について、地元関係者の意向を踏まえながら、事業実施中である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国営斐伊川沿岸農業用水再編対策事業が、平成28年度に事業完了する予定になった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
地元関係者の意向を踏まえながら事業を進める中で、総事業費が不足する懸念がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
施行中の工事が増額となっている
- ③原因を解消するための「課題」
平成28年度に事業完了するために、必要な総事業費の増額と予算を確実に確保する必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成28年度事業完了に向け、当初予算の確保を国へ強く要望していく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）